

議案第10号 令和2年度八千代市一般会計補正予算（第6号）に対する組替え動議

上記の動議を別紙のとおり会議規則第16条の規定により提出します。

令和2年9月23日

八千代市議会議長 木 下 映 実 様

提出者	八千代市議会議員	伊 原 忠
賛成者	八千代市議会議員	植 田 進
	同	堀 口 明 子
	同	飯 川 英 樹
	同	三 田 登

提案理由

1 組替えを求める理由

新型コロナウイルスの感染が広がり、認可保育園や認可外保育園等でのクラスターも発生するなど、市内感染者は136人（令和2年9月18日現在）になっている。八千代市医師会によるPCR検査も進められているが、国の支援が遅れているため、体制が不十分である。また、中小企業や個人事業主に深刻な打撃を与えている現状である。

コロナ禍で明らかになったことは、中小企業や低所得者などの社会的弱者がより窮地に陥り、そのため各自治体が独自施策を実施しなければならないことである。

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は緊急に必要としている人たちのために使うことと考へ、キャッシュレス決済ポイント付与事業や公立学校情報機器整備事業は熟慮すべき課題があるため、緊急性が高い施策を優先するよう、予算の組替えを求める。

2 組替えの基本方針

新型コロナウイルスの感染から市民の生命と健康を守り、暮らしを支えることを基本とする。PCR検査体制を充実させ、コロナ禍に対する支援制度を継続、充実させるための経費を計上する。

3 組替えの内容

市が提案している補正予算を組み替える。

- (1) 歳入では、増額補正を見送ることとした中小企業経営支援事業（キャッシュレス決済ポイント付与事業）及びコンピュータ教育事業に係る特定財源相当額8億2,869万8千円を財政調整基金から取り崩す。
- (2) 歳出では、中小企業経営支援事業で、令和2年9月以降も引き続き1事業者10万円支給の追加支援で3億8,124万円。ひとり親家庭緊急支援事業で、1世帯3万円の追加支援と公的年金ひとり親の7世帯分（21万円）で3,331万2千円。新生児特別定額給付金給付事業で、新たに1世帯10万円給付で1億4,005万9千円。市内の保育園、幼稚園、介護施設、高齢者施設等の職員、通所者へのPCR検査の拡充と市内医療機関への経営支援で6億2,404万円を追加する。

令和2年度八千代市一般会計補正予算（第6号）に対する組替え案

歳入

(単位：千円)

費目	金額	備考
公立学校情報機器整備費補助金	△ 15,000	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (教育費国庫補助金)	△ 532,383	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (商工費国庫補助金)	△ 281,315	
財政調整基金繰入金	828,698	
計	0	

歳出

(単位：千円)

費目	金額	備考
中小企業経営支援事業 (キャッシュレス決済ポイント付与事業)	△ 403,226	
コンピュータ教育事業	△ 775,425	
中小企業経営支援事業	381,240	1 事業者10万円の追加支援
ひとり親家庭緊急支援事業	33,312	1 世帯3万円の追加支援と公的年金7世帯(21万円を含む)
新生児特別定額給付金給付事業	140,059	新生児に新たに1世帯10万円
コロナ禍に対する支援制度の継続と充実	624,040	市内の保育園、幼稚園、介護施設、高齢者施設等の職員、通所者へのPCR検査の拡充。市内医療機関への経営支援
計	0	